

M42 オリオン座大星雲
M44 プレゼパ星團
M45 すばる(プレアデス星團)

えっ、月が赤銅色になるの？
この不思議な天文ショーを楽しもう!!

3月3日はひな祭り。その日、東の空から昇る満月が赤銅色に染まります。皆既月食と呼ばれる天文現象です。月食は、太陽、地球、月が一直線にならび、地球の影の中に月が入っていくことにより起こる現象です。特にすっぽり地球の影に入った時の状態を「皆既月食」と言います。今回は、18:50頃から月が欠け始め、20:40頃から21:03頃まで赤銅色に染まる皆既月食が続きます。その後、徐々に月は姿を現し、22:17頃にはほぼ元の満月の姿になります。皆既月食の時、月は真っ黒にならず、赤銅色に染まります。なぜでしょう？答えは、地球に大気があるからです。赤から紫まで7色を含む太陽の光は、大気の散乱の影響を受けます。でもあまり散乱の影響を受けにくい赤い色は大気を通して、さらに大気の屈折により影の内側まで入り込んで月に到達し、月面を赤っぽく照らすのだそうです。今回の皆既月食を見逃すと、次に見られるのは2029年1月1日になります。この機会にぜひ、満月が神秘的な赤銅色に染まる皆既月食を、みんなでじっくりと楽しみましょう！

春の星空は、まるで動物園!!
動物の樂園のような春の星空。ここに8種類の動物が仲良く暮らしている。まず、くまさん(2匹)、人気のライオン(2匹)、ワンちゃん(りょうけん座)にカラス、海の動物のカニとウミヘビ。さらに、冬の星空からキリンややまねこも飛び入り、春の星空は大賑わいです。

【星空まっぶの見える方】
南の空を見上げる時は「南」を下にして、北を見る時はまっぶをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね!

【黄道】
天空の星座の間を移動する太陽の見かけ上の通り道

● 1等星以上 ● 3等星
● 2等星 ● 4等星以下

北 N 南 S

3月の星空まっぶ

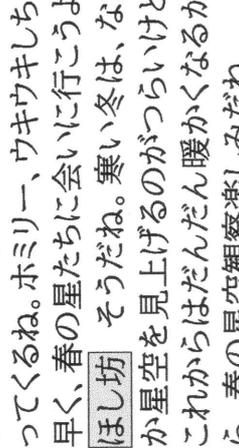
【3月中旬 午後8時頃に見える星空】

ホミリー お兄ちゃん、寒かった冬も終わり、これからはどんどん暖かくなって、気持ちいい日が増えてくるね。ホミリー、ウキウキしちゃおう。早く、春の星たちに会いに行こうよ!

ほし坊 そうだね。寒い冬は、なかなか星空を見上げるのがつらいけど、これからはだんだん暖かくなるから、春の星空観察楽しみだね。

ここから始めよう!
さっき見ていた星たちが、しばらく経つと少し動いていることに気がつく。ちよっと見ただけでは分からないこんな星空の変化、じっくり観察してみよう。

星も、太陽と同じように、毎日、東の空から昇り、西の空に沈む。そこでチェック。北極星を見つければ、北の空は明るい星が少ないので、ポツンと輝く星を見つければそれが北極星。星空は、この北極星を中心に東から西へと弧を描いて周っている。そんな星空の動きを実感する上で注目したいのが、北の空を回る北斗七星(おおぐま座の一部)とカシオペア座。この2つの星座が、時間と共に少しずつ東の空から西の空に動いているのが分かる。日常生活の中では、こんな星空の動きなんてまず意識することはできないですね。機会を捉えて、広く星空が見渡せる場所でのこんな体験をしてみてください!



春の星空観察は
ここから始めよう!

さっき見ていた星たちが、しばらく経つと少し動いていることに気がつく。ちよっと見ただけでは分からないこんな星空の変化、じっくり観察してみよう。

星も、太陽と同じように、毎日、東の空から昇り、西の空に沈む。そこでチェック。北極星を見つければ、北の空は明るい星が少ないので、ポツンと輝く星を見つければそれが北極星。星空は、この北極星を中心に東から西へと弧を描いて周っている。そんな星空の動きを実感する上で注目したいのが、北の空を回る北斗七星(おおぐま座の一部)とカシオペア座。この2つの星座が、時間と共に少しずつ東の空から西の空に動いているのが分かる。日常生活の中では、こんな星空の動きなんてまず意識することはできないですね。機会を捉えて、広く星空が見渡せる場所でのこんな体験をしてみてください!

